

地域おこし協力隊が行く!

Vol.10 March 2018

「地域おこしに協力をする。」読んで字のごとく、これが協力隊の最大の目標であり業務であると思います。果たして、私たちは東御市の地域おこしに協力できたでしょうか?力になれたでしょうか?どちらかというとながら地域になじめるよう、地域の方に協力していただいたことの方がとても多いように感じています。私たち地域おこし協力隊6人は、任期を終えます。これまで様々な形で関わって頂いた全ての皆さまに、心より感謝しております。そしてこれからもよろしくお願いたします。

森 健太郎 隊員 (地域づくり、移住・定住活動支援)

着任当初は、都市部でのやり方を踏襲しようとして、反発を生むこともありましたが、地元へ教を乞いながら活動をする中で、地域独特のしきたり・慣習を知り、地域での活動の難しさや面白さを知りました。ここでは、これまでの肩書きや評価は関係なく、全て行動で評価されます。一から努力が必要な場に身を置けた事は、大きな収穫でした。自分自身、もっと上手くやれたはずでは?もっと良い方法があったのでは?という後悔もありますが、「一期生としてゼロから手探りで進む中で、このあたりが限界かなあ」という思いも、3年間お世話になりました。



東御に来て家族が増えました。なみです♪

谷 貴人 隊員 (健康づくり支援)

大学卒業後すぐに着任、右も左もわからない土地で、自転車さえあれば生きていけるだろうと高めのいい物を購入したものの1週間もたないうちに挫折し、人生初の自分の車を持つことになりました。任期中は子どもたちに関わる活動が中心でしたので、今ではたくさん子どもたちに『に一た一』とニックネームで友達のように呼んでもらっています。Thanks, my friends!!

4月からは、しんたいの職員として、子どもから高齢者まで多くの方に寄り添い、必要とされる存在になれるよう邁進していきます。



山のお友達と真剣ソリ競争

佐藤 照友旭 隊員 (スポーツ振興支援)

ミッションは「スポーツ振興」でした。着任後、すぐにチャレンジデーが開催され、教育委員会、体育協会など色々な方々と活動できたのが印象に残っています。スポーツ振興を行う上で興味深かったのは(公財)身体教育医学研究所の存在です。東御市の健康増進や子どもの教育支援など様々な活動を支えており、東信地域における重要な役割を担っていると感じました。また、研究における活動も多く、学会発表や論文投稿など全国から注目を集めています。こうした組織や市民が支えながらスポーツ振興できる環境は他の市町村に比べ整っていると思います。



鮫 星児 隊員 (観光地域づくり支援)

「ここにはなにもないからなあ」
着任した際によく言われた言葉です。言われた時は、「またまたそんなことを」と思っていたのですが、住んで毎日当たり前に見ているものには鈍感になってしまうものなのかなと今は思います。
近年の観光は「用意された非日常」から「地域が大切にしている日常の追体験」へシフトしつつあると思います。自分の日常が観光商品だなんてちょっと照れくさいですけど、地域に誇りを持って「東御のここがいい!」と素直に語れるよう生きていけたらいいかなと思います。そんな東御市民に私はなりたい。



雷電まつり。絶対晴れてね、てるてる坊主

有賀 慎吾 隊員 (地域づくり、移住・定住活動支援)

幼い頃より何度も訪れたことのある土地ではありましたが、実際に住むとなると話は別でした。瞬間的に過ぎ去る夏と長い冬…。私が関わらせて頂いた芸術祭も含め、東御市の文化の基底にあるものは、人と土地の強い結びつきだと思います。土地が人を育て、その恵みとして日々の生活があるのだということを皆がよく理解している。この地においては至極当然だとしても、空も狭く人工的な空間に閉ざされた都会に居ては気付くようなことではないです。私は地域おこし協力隊として、この地域に何ができたのでしょうか。むしろ、計り知れないほど多くのものを与えて頂いたと感じています。



天空の芸術祭 アケボノゾウ

大塚 達朗 隊員 (観光プロモーション担当)

昨年4月に東御市観光情報ステーションが田中駅にオープンし、観光の玄関口ができ、また、観光庁が定める日本版DMOの候補法人にも当観光協会が登録されました。任期中は、観光プロモーションに携わり、WEBでの情報発信や観光情報ステーションでの業務、県のDMOリーダー養成塾ではDMO先進事例を聞き、意見交換をしました。協会事業では、①湯の丸フォトコンテストの企画②総合パンフレットの編集③観光マーケティング調査集計など、観光地域づくりの一端を担わせていただきました。東御市の更なる観光発展を祈念しております。

